

早期関節リウマチにおけるリウマトイド因子の推移と疾患活動性との関連

2014年から2017年までに関節リウマチの治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「早期関節リウマチにおけるリウマトイド因子の推移と疾患活動性との関連」という研究を行います。この研究は、2014年8月1日より2017年3月31日までに日本医科大学付属病院リウマチ膠原病内科にて、関節リウマチの治療を受けた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：早期関節リウマチにおけるリウマトイド因子の推移と疾患活動性との関連
研究期間：2017年4月1日～2020年3月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 リウマチ膠原病内科 桑名 正隆

(2) 研究の意義、目的について

関節リウマチでは70%程度の患者さんでリウマトイド因子(RF)が陽性となる事が知られており、治療経過が良好の場合はRFも減少傾向になる事が多いと言われておりますが、検討が十分になされていないのが現状です。この研究では、特に未治療の関節リウマチ患者さんを対象に、治療によってRFがどのように変化するのかに注目して検討します。本研究により、関節リウマチの治療経過の見通しをRFの変化で推測し、あなたの今後の治療方針決定に役立つ可能性があります。

(3) 研究の方法について

日本医科大学付属病院リウマチ膠原病内科で外来・入院診療を受けている関節リウマチの患者さんを対象として、50名の患者さんの登録を予定し、上記研究期間より前向きに行います。あなたへのご協力内容は、診療記録(カルテ)内容の閲覧のご許可をいただくことです。一般診療で行われる採血項目であるRFと関節リウマチの活動性に相関があるか等を統計解析し、RFの変化により疾患予後を推測できるかどうかを検討します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 リウマチ膠原病内科 白井悠一郎
〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：7531
メールアドレス：contact@nms-rheum.jp